

防災イラストについて

このイラストは、在住外国人の方が災害時において災害情報を適切に受けることができ、日本語が必要とされる場面での日本語会話を学習するための絵教材として作成されました。このイラストを活用して日本語の会話表現、適切な避難行動などを学ぶことができます。それぞれの場面での日本語会話は、その都度変化することができます。学習者の日本語レベルによって工夫してください。

避難所では同じ地域住民として日本人と共存していかなければなりません。まさに、多文化共生の意識が必要となります。ですから、講座の際には外国人のみならず日本人住民の参加を促すと相互理解を深めることができます。また、異文化接触や日本語の理解力や知識不足から生じる様々なトラブルをできるだけ防ぐためにも、普段から知っておきたい防災知識を得ながら学ぶと効果的でしょう。

◎イラストの構成

災害が起きた際の場面が、以下のとおり時系列に並べられています。

災害発生時 (No.1～6)

災害発生後 (No.8～16)

避難所 (No.17～29)

体質や宗教上の理由による特別なケース (No.30～32)

※カードではなく、ホームページ上のみでダウンロードできるイラストもありますのでご確認ください。

防災カード <http://www.globaljinzai.or.jp/jigyuu/BOUSAI/bousai.html>

◎イラストの分類

各イラストは、以下のとおり分類されています。

A) 場面に遭遇し、学習者はその絵の中にいないもの

B) 登場人物は1人で、学習者にその人物としての発話を求めるもの

C) 登場人物は複数で、学習者にその人物としての発話を求めるか、学習者が一方の他者の発話を受けるもの

◎指導ポイント案と表現例について

イラストにはテーマ（場面）と目標が設定されています。

指導ポイント（案）には、各イラストで習得すべき文型や表現などの指導項目をあげています。

イラストカードを見た学習者が自発的に発話するよう、授業の組み立て方を例にしてください。その際、学習者の日本語レベルによって導入する語彙や表現が異なりますが、押さえておきたい表現を表現例にしました。レベルに合わせながら幅広い学習者が同時に受けられるよう、基本を押さえて発展内容を加えるなどの工夫をするといいでしょう。

そのほか、普段から知っておくと便利な情報についても記載してありますが、市町村で状況が異なります。事前に確認しておくことをお勧めします。

◎避難所運営ゲーム（HUG）との連携

No.8～32は避難所で起こり得る場面となっていますので、避難所運営ゲーム（HUG）と組み合わせ、学習者が日本語を習得してから地域の日本人住民を交えてHUGを行ってみるのもいいでしょう。